

青年海外協力協会は、

日本を
“ごちゃまぜ”に
します。



公益社団法人 青年海外協力協会

Japan Overseas Cooperative Association

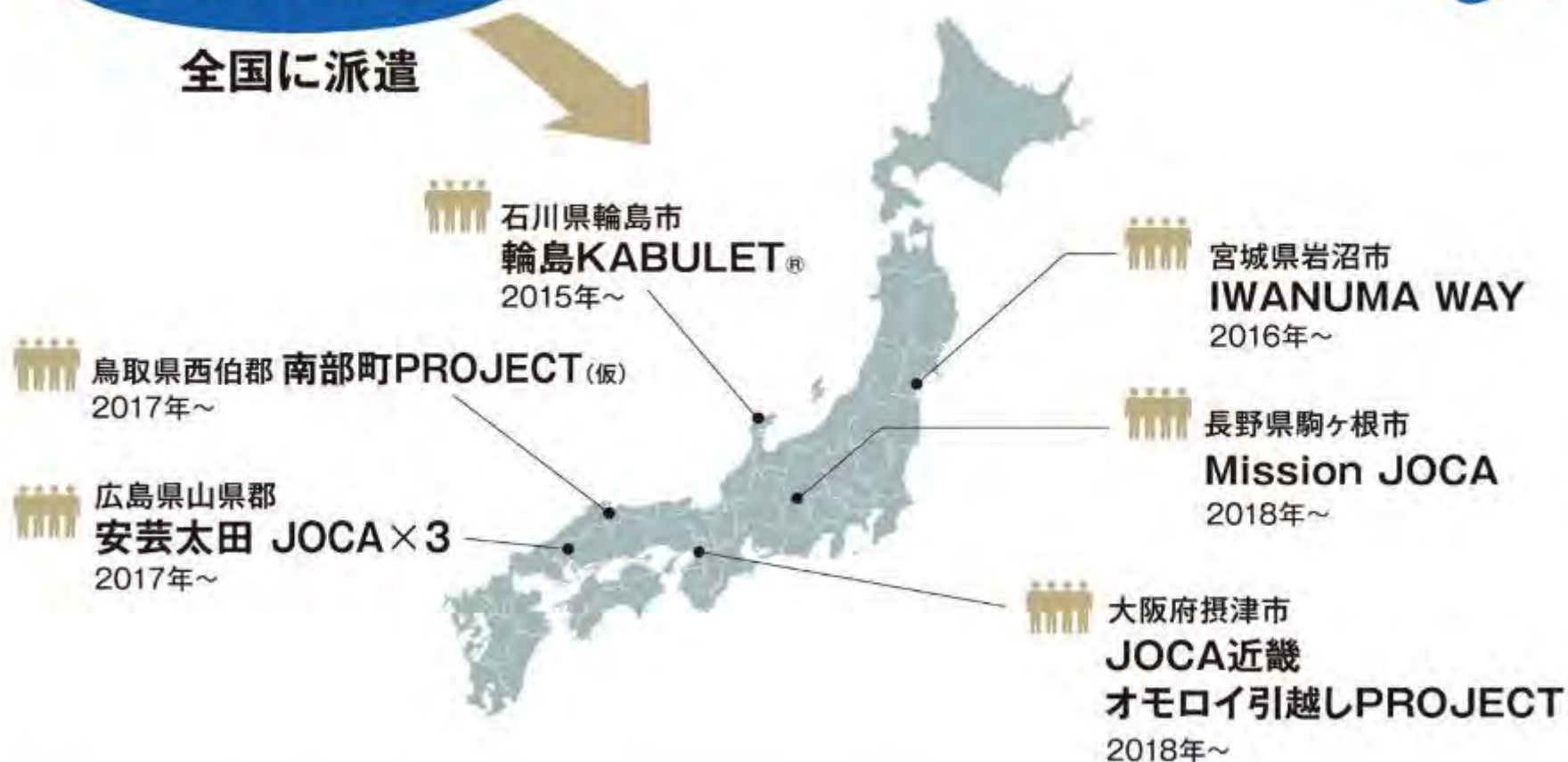
年間約1,000人の帰国隊員 120職種以上の多様な専門性を持った人材

BUSSI-EN

joint venture



全国に派遣



青年海外協力隊のOBOGが日本各地で「地方創生事業」に取り組んでいます。

JOCA南部（鳥取県）



災害支援（石川県 輪島市）



災害支援（石川県 輪島市）



コミュニティセンター イメージパース



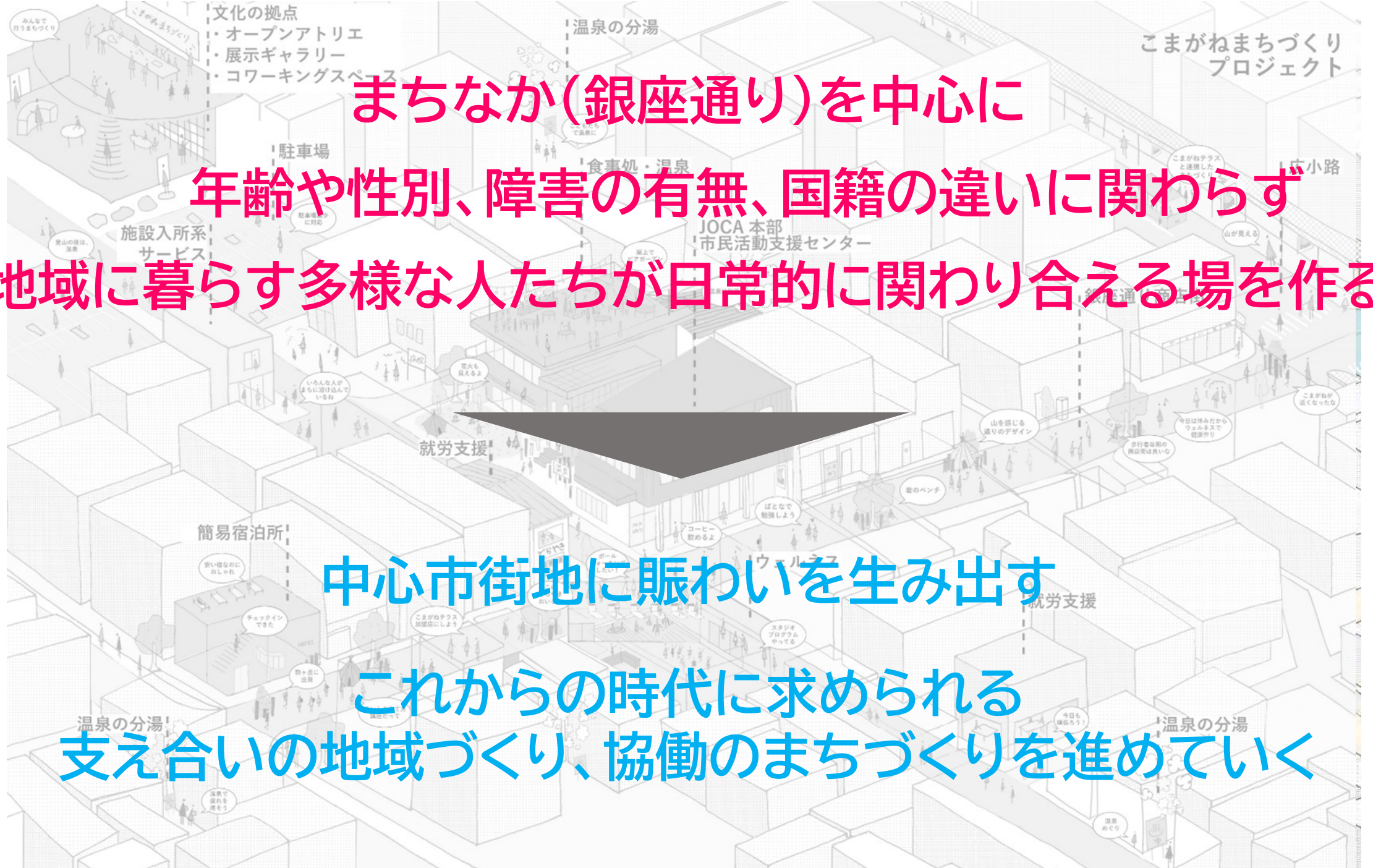
東京都千代田区の本部事務所



2018年3月
長野県駒ヶ根市へ移転

職員約30名
(家族も入れて40名)





こまがねまちづくりプロジェクト

文化の拠点
・オープンアトリエ
・展示ギャラリー
・コワーキングスペース

温泉の分湯

まちなか(銀座通り)を中心に

年齢や性別、障害の有無、国籍の違いに関わらず

地域に暮らす多様な人たちが日常的に関わり合える場を作る

就労支援

中心市街地に賑わいを生み出す

これからの時代に求められる

支え合いの地域づくり、協働のまちづくりを進めていく

**まちなか(銀座通り)を中心に
年齢や性別、障害の有無、国籍の違いに関わらず
地域に暮らす多様な人たちが日常的に関わり合える場を作る**

**中心市街地に賑わいを生み出す
これからの時代に求められる
支え合いの地域づくり、協働のまちづくりを進めていく**

**まちなか(銀座通り)を中心に
年齢や性別、障害の有無、国籍の違いに関わらず
地域に暮らす多様な人たちが日常的に関わり合える場を作る**

**中心市街地に賑わいを生み出す
これからの時代に求められる
支え合いの地域づくり、協働のまちづくりを進めていく**

Mission (駒ヶ根)

関わり合いの場づくり

まちなかに「日常的に」ひととひとが関わる場をつくる



近所に住む
外国人

仕事の打合わせ





JOCABUCKS COFFEE

Since 2018



“健康”をテーマに
地域の人と人とを結びつける取り組み



「多世代交流の促進」「多様な人材の活躍の場づくり」





連携事業



長野県看護大学：マチヅクリサークル

こまがね健康ステーション



事業承継：大衆食堂きよし



J'sワーク ファーム事業



J's保育園 駒ヶ根









■沖縄県：長野県への中学生派遣交流事業(2025年2月23日)

今日一日を一言で表すと？



信濃毎日新聞(2025/2/26)

沖縄の中学生 駒ヶ根訪問

赤穂中学生と五平餅作り

長野・沖縄両県の交流連携協定に基づき、信州を訪れていた沖縄県の中学生が23日、駒ヶ根市の駒ヶ根ふるさとの家で同市の赤穂中学校の生徒と交流した。生徒たちは、一緒に五平餅作りを体験したり、それぞれの故郷のことを紹介し合ったりして楽しんだ。

沖縄からは公募に応じた県内15校の1〜3年生16人、赤穂中からは希望した2、3年生9人がそれぞれ参加。生徒たちは互いに自己紹介をした後、5人のグループに分かれ五平餅作りに挑戦する沖縄の中学生たち

赤穂中2年の下平結さん(14)は「話しやすい子たちでよかった」と楽しんだ様子。沖縄県には行ったことがないといい、「シーサーと海のイメージ。いつか行ってみたい」と話した。沖縄県の離島、竹富島の竹富中から訪れた2年生鶴丸花緒さん(14)は「沖縄と言えば海だけど、長野はどこを見てもし。沖縄では絶対にあり得ないこの寒さがいい」と喜んでいった。

沖縄の生徒たちは21日から3泊4日の日程で長野県内を巡り、善光寺(長野市)や満蒙開拓平和記念館(阿智村)なども訪れた。

五平餅作りに挑戦した。沖縄の生徒たちは、材料のコメを木の棒でつぶす作業に悪戦苦闘しながらも、笑顔を見せていた。



「日常的に」人と人が関わる場はどこも同じ



持続可能なまちづくりの成果

事業を展開する企業としてある前に、職員1人1人も地域住民として「**ごちゃまぜ**」の一員になる事で地域そのものに主体性が生まれる



- JOCAが展開したいことを行うのではなく、地域が求めている事を一緒に語り合える関係性を築けるか。
- 「ごちゃまぜ」の展開には、さまざまな年齢、境遇、立場、の方が居る。その方々の“居場所”とはどんな場所なのかを常に求め続ける。

持続可能なまちづくりの課題

あらゆる施策分野に横断的に取り組むことで、「**ごちゃまぜ**」の成果、取り組みの魅力は向上している



- **A型就労として考えると事業収益の拡大は必要不可欠**
- **「ごちゃまぜ」の展開には、受け皿として事業種別の拡大が必要不可欠**
⇒ **地域再生推進法人の活用方法など**

地域に暮らす様々な人たちが
子どもから高齢者まで、
病気や障害のある無しや年齢、国籍を問わず
日常的につながり合う



人生100年時代の地域づくり
中心市街地の賑わい
地域に賑わいをつくる

